

胡 军 今村久 村上元 编 著

汉日中医 临床会话

医
药



上海中医药大学出版社

R 24
464
7

汉日中医临床会话

胡 军 今村久 村上元 编著

上海中医药大学出版社

2569/35

汉日中医临床会话

胡军 今村久 村上元 编著

上海中医药大学出版社
(上海零陵路530号 邮政编码 200032)
常熟市新骅印刷厂印刷

新华书店上海发行所经销
上海杰申电脑排版有限公司排版

开本: 787×1092 1/32 印张: 8.5 字数: 184千字
1998年9月第1版 1998年9月第1次印刷 印数 3000册

ISBN 7—81010—402—0/R·384

定价: 17.80元

序 1 (原文)

胡军医师与日本今村久、村上元同道合作编写了这本《汉日中医临床会话》一书。胡君在我校攻读博士学位时掌握了日语,今村和村上二君在我校学习中医时已掌握了中文,这次协作,自然能各展所长,为中医药的交流发挥双方语言的特色。

全书的编写分“临床常用会话句式”和“临床常见病证会话”两部分,采用医者、病者和学医者的对话来展开,有如身临其境,将能提高学习的兴趣而增强效果,其读者对象即以这三方面人为主,围绕诊病、治病、求医、问药的活动进行交谈。中国医者可以通过此书而掌握对日医疗和教学的用语,日本进修生和病者则可以通过此书而掌握中医药常识和交谈用语。

此书的编写,可说是以作者近几年来对日临床教学的经验为基础,内容紧扣实际,不落空套,其有利于日中医药文化的交流,为日中读者所欢迎是不言而喻的。

日中医学文化的交流有悠久的历史,隋唐以来,代有发展。唐代鉴真上人东渡日本,于弘扬佛法之外,还传播医药文化,其影响极为深远。那时日中交流增多,在唐诗中就有“送僧归日本”的名篇:

“上国随缘住,
来途若梦行。
浮天沧海远,

去世法舟轻……”

随着交往的频繁,以致把“浮天沧海远”只看成是“一衣带水”之隔,这种视远若近的心情,主要是由于两国间存在“同文同种”的关系。近代由于交通的发达,“浮天沧海远”可以说成是“航天沧海远”了,日中之间的关系自然更见密切。

作为“同文”的汉字固然来源于汉土,但对它的发展,使用汉字的邻国也作出了贡献。通过交流,既取得了认同,当然也存其所异。早期有关医学的用词,如“元气”、“风邪”等已融入日人的日常用语中;近代医学用词的扩展,日人则成为我们的先导,不少新的构词即由日人创用而为我们所认可。本书名的“临床”一词就是如此。

日中文化交流,早期主要是通过书面文字,现在更是直接通过口语。由此可见交流的深度和广度已大为增进。这种交流必然促进文化的发展。本书的编写是适应了这方面的要求,出版之后,定能为此发挥积极的作用。

特记此以为序。

李 鼎 于上海中医药大学

1997·9·20

序 1 (訳文)

胡軍先生と今村久、村上元先生達が、協力してこの『漢日中医臨床会話』を編纂されました。胡君は、我が校で博士課程を履修中に、日本語に熟達され、また今村、村上両君は、我が校にて中医学を履修研究中に中国語を会得されました。この度の共著では、各々の得意な領域の能力が発揮され、中国医薬学交流に於ける両国言語の特徴が巧く表現されています。

全体の構成は、「臨床常用会話形式」と「臨床常見病証会話」の二つの部分から成り、中医師、インターン生、患者さん達の会話が展開されています。恰も臨床の場に対峙している様子は、学習の興味をそそり、またその学習効果を更に高めるものです。上述の三グループを読者対象に、診察、治療、医師受診また薬の問い合わせの状況が表現されています。この書を通して、中国側の医師は、日本語での医学用語、医学教育の用語を学ぶことができ、他方、日本側の研究生、学生また患者さんは、中国薬についての一般的な知識を学びかつ中医院内での会話やりとりに親しむ事ができます。

この書の編集は、著者がこの数年に渡って携わった日本人の臨床、及び教育経験を基にして、内容は無意味なものは排し、実際に則したものとなっております。この書が、日

中医学の交流に貢献し且つ日中の読者に歓迎されるものであろう事は論ずるまでも有りません。

日中医学の学术交流には悠久の歴史があり、隋唐以来の歴代の発展が見られます。唐代の鑑真上人が渡日して、佛法を普及させると共に、医学を伝播させ、計り知れない程の影響を残しています。その当時、日中の往来は増加の一途を辿っていました。唐時代の詩の中に『送僧歸日本』と云う有名な一篇が有ります。

「上国随缘住、
来途若梦行。
浮天沧海远、
去世法舟轻・・・」

行き来が頻繁になるにつれて、「浮天滄海遠」を「一衣帶水」の隔たりと見なす、このような遠方を近くに捉えて感じる心情が芽生えたのは、両国の間にある「同文同種」の關係に由来するものです。近代は交通手段が発達して、「浮天滄海遠」が「航天滄海遠」と言える程、日中の間の關係は、自然緊密なものとなりました。「同文」としての漢字は、本来、漢の土地に來歴するものですが、この文字の發展に関して、漢字文化圏の隣邦も大きな役割を果たしています。同じ様な文化交流もあれば、他方異なったものも有りました。初期の医学の専門用語「元氣」「風邪」等は、日本に伝わった後、日本の日常語となりました。近代医学の専門用語の拡大については、日本人医学者が我々の先達となってくれました。多くの新しい用語は日本人の創作に拠るもので、我々の認識使用する所となりました。本書名の「臨床」と云う字句

は、そういう例の一つです。

日中学術交流は、初期は主に書物、文字を通じて行われましたが、現在は更に直接的な会話を通じたものとなりました。これにより、文化交流は、益々進み、深く且つ広範なものとなっています。このような交流は、學術文化の発展を促進してくれる筈です。本会話書の編輯は、この方面での江湖の要望に応じるものです。上梓の暁には、その内容は杏林諸兄にとって十分満足出来るものと信じる次第です。

特に、これを記し序文としました。

李鼎 上海中医薬大学

1997.9.20

序 2 (原文)

このたび、上海中医薬大学助教授胡軍氏と日本の今村治療院院長今村久氏、上海中医薬大学の研究生村上元氏との協同編集により『漢日中医臨床会話』が出版されることは誠に時宜に適した良い企画であり、悦びにたえません。

日中医薬学交流の歴史を回顧するに、7世紀始め、遣隋使に従って中国に留学した医者恵日、福田や8世紀に來日して中医薬学を伝えた鑑真和上以来、千数百年間、中国医学は日本医学の主流となっていた。然し、日本では明治維新(1868年)以後、西洋近代医学を採用したため、東洋伝統医学は一時期、衰退を余儀無くされた。然し、30—40年以前より、日中間の交流が活潑となるとともに、日本に於いては近代医学の欠点が目立ち、再び東洋医学が盛んになってきた。現在日本の大小の病院、診療所の約3分の2は何らかの東洋医学的療法を採用している。

日本に受容された中国医学は、両国の自然環境、習慣、体質の差異により中国医学は日本的な学説、技術へと変化してきた。それは当然の結果ではあるが、臨床家はやはり中医学の伝統的理論や技術を確実に学ぶ必要がある。そのためには日本の臨床家、研究者が中国に来て、中医学を実地に修練することが最良の手段である。

古来、中日両国は一衣帯水、同文同種の関係にあった。

従って私達は筆談によって相互に意志を伝えることが出来る。然し、中国語の発音は難しく会話は学習なくしては理解出来ない。診療の第一歩はまず問診からはじまる。患者と医師との会話が最も重要である。微細な症状や感情を伝達することは特に困難である。現在、臨床に於いて基本的会話の手本となるべき書物がないことは残念であったが、今回、本書が出版されることは、日中の臨床家や患者にとって、大きな幸福である。中国側著者の胡軍助教授は新進気鋭の女性研究者である。容姿端麗であり性格は優しく、患者には忠恕の心をもっており、わたしはいつも尊敬している。しかも彼女は日本語に熟達しており、日本人の心情もよく理解している。

中国医学を学ぼうとする多くの日本人臨床家が、この会話集を活用することにより、単に会話の便宜のみならず、中国医学の理論、技術の修得の第一歩を踏み出すことになると確信している。簡単ではあるがお祝いをかねて序言とする。

杉立義一

1997 年重陽日、於京都市

序 2 (译文)

这本由上海中医药大学胡军副教授和日本今村治疗院今村院长、上海中医药大学进修生村上元医生共同合作编写的《汉日中医临床会话》即将出版,我为他们选在这样的良好时机,有这样的写作计划而高兴。

回顾日中医学文化交流的历史,从7世纪初,随遣隋使留学中国的惠日、福田医生,到8世纪,前往日本传授中医药的鉴真和尚,在这数千百年间,中国医学成为日本医学的主流。然而,自日本明治维新(1868年)以后,由于西洋现代医学的采用,东洋传统医学一时渐渐地衰退。近30~40年来,随着日中文化交流的活跃,和现代医学诸多不足的显示,在日本,东洋医学再度兴盛起来。目前,日本的各大小医院、诊所中约有三分之二,或多或少都采用着东洋医学的治疗方法。

被日本吸纳的中国医学,由于两国的自然环境、人们的习惯、体质的差异,中国医学在日本的学说和技术上发生了变化,这是必然的结果。然而,临床工作者仍然需要学习确实的中医学传统理论和技术。因此,日本的临床工作者和研究者来到中国,在实地学习和锻炼是最良好的掌握手段。

自古以来,日中两国一衣带水,种族相同文字相近,因此,相互以文笔交流,表达情感还比较容易,但由于中国话发音较难,会话不便时,学习就不易全面理解。临床诊疗,第一步首先就是问诊,患者和医生的会话非常重要,表述细微的症状和

情感的变化尤其比较困难。目前,临床上尚没有一本基本的会话手册和可供参考的读物,是令人遗憾的,此书的出版,将是日中临床工作者的一大幸事。

该书的中国作者胡军副教授,是一位年轻上进的女性研究者,容姿端庄且性格温和,常以体贴之心对待患者,我表示赞赏。并且,她熟悉日语,因此对日本人的心情也比较理解。

对欲更多地了解中医药学的日本临床工作者来说,灵活运用这本会话集,不仅有利于简单的会话,而且,我确信将对中医的理论和技术的学习起到启蒙作用。在此谨以简短之语表示祝贺,并为之序。

杉立義一

1997年重阳日 于京都市

前 言

中日医学文化交流源远流长,随着近年中日友好关系的良好发展,医学交流更是日趋频繁,而中医药在其中则占有重要的地位。中国不少中医工作者应邀前往日本讲学、主持门诊,日本的中医研究者不断来到中国学习理论、参加临床实践,还有不少来华旅游者对中医药进行保健咨询和就诊。为了克服语言障碍带来的各种不便,迫切需要一本实用的适合不同层次的读物。鉴于目前市面上此类书的缺如,我们本着既利于会话交流,又能给初学中医者达到启蒙作用的宗旨,编写了这本《汉日中医临床会话》。书中采用医生、患者、学生,一问一答的形式,设身处地,从实际的需要来开展中医临床会话。本书将临床常用的问诊句式归类列于书首,以利会话时的查检。选取了临床各科常见病 50 个,每个病证都包括了采集病史、辨证处方及治疗操作的全过程,并尽可能地介绍了中药、针灸、推拿的有效运用方法,以期学之能用。书末附录常见的舌、脉和临床意义,以及经络腧穴名、常见中药名、西医病名、主要肌肉和骨骼的读法,其目的均在于更好更快地掌握中医学习中的难点内容和了解中日文读法上的不同之处,举一反三,事半功倍。

会话句式力求流畅上口,医理分析力求准确规范。但翻译中,由于中日风俗习惯、文化背景有一定差异,加之中医理论的深奥、独特,有不少习惯表达和中医术语难以找到贴切的

对应词语,对此,我们尽量采用意义相近的译法,保持原义。由于水平有限,错误之处,还望同仁指正。

本书在中国国际针灸考试委员会委员、上海中医药大学李鼎教授和立夫中医药学术奖协助委员会日本国委员、京都医学史研究会名誉会长杉立義一博士的热情关怀和支持下完稿,并欣然为本书作序。在此,我们表示衷心的感谢。

编者

1997年9月

はじめに

中日医学文化交流は歴史が長く、近年中日友好関係の発展にともない、医学交流は日に日に頻繁になっております。中医薬は其中でも、重要な地位を占めます。中国で中医に携わる人は、日本で講演や診察の要請が多くあります。

日本での、中医研究者は、絶えず中国に来て理論を学習し、臨床実践をしています、又多くの旅行者は中医薬の健康相談と診察をします。言語の障壁は、色々な不便を引き起こします、それを克服するために、一冊の実用的で多くの人に合う読み物を書く事が必要となりました、まわりを見てみると、この様な本はありません、会話交流、また中医の入門者の啓蒙を目的としこの本「漢日中医臨床会話」を書きました。医者、患者、学生の一問一答形式を採用しています、読む人の立場になって、実際に必要とする中医臨床会話となっています。

この本はまず臨床常用の問診での会話を分類してあるので、会話の時調べるのに便利です、臨床各科で常に見られる病気 50 個を選びました。各病症は病史、弁証、処方及び治療操作の全行程を包括しました、中薬、針、推拿の有効的な方法を出来るだけ紹介しました、学習してから、使用する事を期待します、本の付録には、常用される舌、脈と臨床意

義又経絡腧穴、中薬、西洋医学の病名、主な筋肉、骨の読み方があります、その目的は中医を学習中に出てくる難かしい内容と、中日文の読み方の違いが、更に良く早く把握出来るようにしました、一を聞いて十を知る、半分の努力で倍の成果をあげることが出来ます。

会話集は出来るだけ流暢で話易く、医理分析も出来るだけ正確な規範を求めました。しかし、中国と日本の風俗習慣、文化背景には差があります、これに加えて中医理論の奥深さと独特さ、多くの表現習慣と中医専門語により、すべての言葉を一致させる事は難かしいです。これに対して、出来るだけ意味に近ずけた翻訳をし、もとの内容を保持しました。能力には限界があります、間違った所あればご指導お願いします。

この本は、中国国際針灸試験委員会委員、上海中医薬大学の李鼎教授と立夫中医薬学術奨励委員会日本国委員、京都医学史研究会名誉会長杉立義一博士の熱情の配慮と支持を戴き原稿を書き終えました、併せて本書の序文を喜んで書いて戴きました。ここで謹んで感謝の意を表します。

著者

1997年9月

目录 目次

临床常用会话	1
临床常用会话	1
问一般情况	1
一般状况を問う	1
问寒热	2
寒熱を問う	2
问痛	6
痛みを問う	6
问饮食	12
飲食を問う	12
问二便	17
大小便を問う	17
问睡眠	23
睡眠を問う	23
问汗	26
汗を問う	26
问月经、带下	29
月経、帯下を問う	29
常见病临证会话	35